

認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査研究事業の調査検討組織
設置要綱（案）

1. 設置目的

（株）三菱総合研究所は認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- （1）本調査検討組織は、栗田主一（東京都健康長寿医療センター 研究部長）を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- （2）委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- （1）調査検討組織の運営は、（株）三菱総合研究所が行う。
- （2）前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査研究事業の調査検討組織 委員等

委員長	栗田 主一（東京都健康長寿医療センター 研究部長）
委員	今井 幸充（日本認知症ケア学会 理事長）
委員	助川 未枝保（日本介護支援専門員協会 常任理事）
委員	瀬戸 雅嗣（全国老人福祉施設協議会 副会長）
委員	沼田 美幸（日本看護協会 医療政策部 部長）
委員	藤井 賢一郎（上智大学総合人間科学部 准教授）
委員	三根 浩一郎（公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長）
委員	宮島 渡（一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク 副会長）
委員	蓬田 隆子（全国グループホーム団体連合会 副代表）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 総務課 認知症施策推進室
室長補佐 山田 義人
- 厚生労働省 老健局 総務課 認知症施策推進室
認知症対策・虐待防止対策係長 石川 直人
- 厚生労働省 老健局 総務課 認知症施策推進室
認知症対策・虐待防止対策係 山崎 修
- 厚生労働省 老健局 振興課 課長補佐 佐藤美雄
- 厚生労働省 老健局 振興課 介護支援専門官 石山麗子
- 厚生労働省 老健局 振興課 人材研修係長 田代善行

(6) 認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査研究事業 (案)

1. 調査の目的

平成 27 年度では、認知症高齢者に対するサービス提供の状況や事業所の体制について、各介護サービス横断的な調査を実施したところである。昨年度調査を踏まえ、平成 28 年度では、認知症の容態を踏まえた適切な介護サービスの提供の観点から、認知症高齢者に対するケアマネジメントのプロセスに着眼した以下の調査を実施する。

- 1) 居宅介護支援事業所およびケアマネジャーを対象に、認知症高齢者に対する一連のケアマネジメントプロセスの実態を把握
- 2) 主要な居宅サービス・施設サービス・地域密着型サービス事業所を対象に、認知症高齢者に対するサービス提供の状況等の実態をサービス類型別 (居宅サービス・施設サービス・地域密着型サービス) に把握

2. 調査客体

A 認知症高齢者に対するケアマネジメント調査

居宅介護支援事業所 ※4,000 事業所程度 (無作為抽出) 及び居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー

B 認知症高齢者に対するサービス提供に関する調査

居宅サービス・施設サービス・地域密着型サービス事業所 ※10,000 事業所程度 (無作為抽出)

サービス類型	調査対象
居宅サービス	訪問介護、訪問リハビリテーション、訪問看護、通所介護、通所リハビリテーション、特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
地域密着型サービス	定期巡回・随時訪問対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

3. 主な調査項目

A 認知症高齢者に対するケアマネジメント調査

○居宅介護支援事業所票

認知症の疑いのある利用者の医学的診断・原因疾患の把握状況

認知症の人に対するケアマネジメントの方針、研修等の状況

認知症の人に対するケアマネジメントをする上での他機関との連携状況、課題 等

○ケアマネジャー票

認知症の疑いのある利用者の医学的診断・原因疾患の把握状況

認知症の人に対するケアマネジメントプロセスの状況 (アセスメント、ケアプラン作成、関係者との連携、モニタリング実施状況 等)、認知症の人に対するケアマネジメントを行う上での課題 等

B 認知症高齢者に対するサービス提供に関する調査

認知症高齢者に対するケアについての事業所全体の取り組み状況

認知症高齢者に対する支援の内容 (アセスメント、個別援助計画作成、ケアの提供状況等)

認知症高齢者に対する支援を行う上での課題 等

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する実態調査【居宅介護支援事業所票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況**についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**20★年★月★日(★)までにご返送**下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査」事務局
 電話 : 0120-★-★-★-★ (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

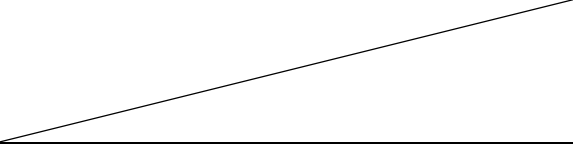
貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	
	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		4. 介護老人保健施設
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護
	8. 訪問看護	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導
	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション	13. 短期入所生活介護
	14. 短期入所療養介護		
	15. 特定施設入居者生活介護		
	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など		
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護	
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	
	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
25. 看護小規模多機能型居宅介護			
26. 居宅介護支援	27. その他()		

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況		
	(1)常勤	(2)非常勤
①職員の総数	人	人
01 介護支援専門員数(介護支援専門員業務を実施している管理者含む)	人	人
02 主任介護支援専門員数	人	人
03 その他職員	人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※平成 28 年 10 月に給付管理を行った実利用者数をご記入ください。									
(1)要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(2)認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3)若年性認知症の利用者実人数									人

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対するケアマネジメントの実際について (ケアマネジメントの方針や認知症の人に対するケアマネジメントの質向上のための取り組み)について	
(1) 認知症の人に対するケアマネジメントの方針についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の人権と権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし
② 貴事業所では、初回訪問で、利用者の認知症(認知機能の低下)が疑われる場合の対応についての事業所としての方針がありますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない
「1. ある」場合、どのような方針ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主治医に相談する 2. 認知症の診断を受けているかどうかを把握する 3. 認知症の診断を受けていない場合には医療機関への受診を勧める 4. 認知機能障害についてアセスメントを行う 5. 生活障害についてアセスメントを行う 6. 事業所でケースの検討会議を行う 7. その他()

<p>③ 貴事業所では、認知症の人のケアマネジメントに関する支援体制はありますか。</p> <p>「1. ある」場合、どのような支援体制がありますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. ある 2. ない</p> <p>1. 事業所内に主任介護支援専門員がおり、相談できる体制がある 2. 事業所内で、職員同士で相談できる体制がある 3. 地域包括支援センターや認知症地域支援推進員と相談できる体制がある 4. 医師・歯科医師と相談できる体制がある 5. その他()</p>
<p>④ 貴事業所では、事業所の介護支援専門員に対し、認知症の人のアセスメントについてどの点を重視するよう指導・助言していますか。 ※特に重視している上位3つを選択</p>	<p>1. 本人が困っていること、心配していること 2. 本人の意向・希望 3. 家族の意向・希望 4. 本人の生活状況 5. 認知症の診断名 (原因疾患) 6. 認知症の重症度 7. 認知機能障害の特徴 8. 行動・心理症状 (BPSD) とそれが生じる要因 9. 身体の健康状態 (睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等) 10. 手段的日常生活動作 (IADL) 11. 身体的日常生活動作 (ADL) 12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況 13. 居住環境 14. 経済状況 15. 家族の状況・介護力 16. その他 ()</p>
<p>⑤ 貴事業所では、事業所の介護支援専門員に対し、認知症の人のケアプラン作成についてどの点を重視するよう指導・助言していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 本人の意向・希望を重視してケアプランを作成する 2. 家族の意向・希望を重視してケアプランを作成する 3. 認知症の重症化予防を重視してケアプランを作成する 4. 今後起こり得る変化やリスクを想定してケアプランを作成する 5. その他 ()</p>
<p>⑥ 貴事業所では、事業所の介護支援専門員に対し、認知症の人のモニタリングについてどの点を重視するよう指導・助言していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 本人の意向・希望を把握すること 2. 家族の意向・希望を把握すること 3. 認知症の重症化の状況を把握すること 4. 今後起こり得る変化やリスクを想定すること 5. その他 ()</p>
<p>⑦ 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。※複数選択可</p>	<p>1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 利用者の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に代わって他機関との調整を行う 6. その他() 7. 家族に対する支援は行っていない</p>

<p>⑧ 貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取り組みを行っていますか。</p>	<p>1. 行っている 2. 行っていない</p>	
<p>「1. 行っている」場合、どのような取り組みを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. その他()</p>	
<p>(2) 認知症の人に対するケアマネジメントに関する研修についてお伺いします。</p>		
<p>① 貴事業所では、認知症の人に対するケアマネジメントに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的実施している 2. マニュアル・手順書等で教示する 3. 介護支援専門員の能力・経験を勘案して、担当する利用者を決めている 4. 主任介護支援専門員の役割を明確にし、スーパーバイズを行っている 5. 行っている 6. 法人外の外部研修を受講させる 7. 特に教育・人材育成は行っていない 8. その他()</p>	
<p>② 「1. 法人内の研修・勉強会を定期的実施している」「5. 法人外の外部研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます) ※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 主任介護支援専門員 4. 管理者 5. 受講対象者に関する決まりはない 6. その他()</p>	
<p>③ 「1. 法人内の研修・勉強会を定期的実施している」を選択した場合、どの程度開催していますか。(前年度中の実績)</p>	<p>／年</p>	
<p>④ 「1. 法人内の研修・勉強会を定期的実施している」を選択した場合、どのような内容を重視していますか。 ※特に重要視する3つを選択</p>	<p>1. 本人の視点の重視について 2. コミュニケーションについて 3. 家族への支援について 4. 認知症の定義について 5. 認知症の原因疾患について 6. 認知症の中核症状と行動・心理症状について 7. 早期の診断・治療について 8. 認知症の薬物治療・非薬物療法について 9. 医療機関・サービス事業所等との連携について 10. 認知症の人の人権と権利擁護について 11. その他()</p>	

<p>⑤ 「5. 法人外の外部研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となって、OJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他 ()</p>
<p>⑥ 認知症の人のケアマネジメントを学ぶための外部研修(地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等)にはどの程度参加していますか。(前年度中の実績)</p>	<p>1. 受講者あり →受講者数()人/年 ※実人数をご記入ください 2. 受講者なし 3. 認知症に関わる研修なし</p>

問5. 認知症の人に対するケアマネジメントをする上での他機関との連携について									
(1) 認知症の人に対するケアマネジメントに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。									
① 認知症の人に対するケアマネジメントに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」の場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可						
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる関係者・関係機関がない 2. 連携可能な関係者・関係機関に関する情報がない 3. 関係者・関係機関からの協力が得られない 4. 連携に関し、利用者・家族からの理解が得られない 5. その他						
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
15. 介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5	5→()	
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5	5→()

<p>(2) 貴事業所では、認知症の人に対して、多職種による専門的なアセスメントを踏まえて、ケアプランを作成・共有していますか。</p>	<p>1. している 2. していない</p>
	<p>「1. している」場合、利用者の対象範囲はどこまでですか。 ※複数選択可</p> <p>1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している</p>
	<p>「1. している」場合、代表的な連携先は誰ですか。 ※複数選択可</p> <p>1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 介護サービス事業所の職員 16. その他()</p>

問6. 認知症の人に対するケアマネジメントを行う上での課題について
認知症の人に対するケアマネジメントにおいて、どのような課題がありますか。ご自由にご記入ください。

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する実態調査【介護支援専門員票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所に勤務する全員の介護支援専門員の方が**各々でご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況**についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月30日(水)までにご返送**下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する実態調査」事務局
電話 : 0120-010-448 (平日9時30分~17時30分)
●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
E-mail : ninchisho27-ml@mri.co.jp
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報	
(1)職務	1. 管理者である 2. 1. 以外 → 職位・職種()
(2)基礎資格	1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 助産師 6. 看護師 7. 准看護師 8. 理学療法士 9. 作業療法士 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士 12. 視能訓練士 13. 義肢装具士 14. 歯科衛生士 15. 言語聴覚士 16. あん摩マッサージ指圧師 17. はり師 18. きゆう師 19. 柔道整復師 20. 栄養士 21. 精神保健福祉士 22. 介護福祉士養成のための実務者研修(旧ホームヘルパー1級) 23. 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級) 24. 旧ホームヘルパー3級 25. その他()
(3)介護支援専門員の経験年数	()年 ()ヶ月
主任介護支援専門員の場合、資格取得以降の経験年数	()年 ()ヶ月
(4)勤務形態	1. 常勤専従 2. 常勤兼務 3. 非常勤専従 4. 非常勤兼務
(5)これまでの研修の受講状況	①更新研修・専門研修課程Ⅰ 1. 修了した 2. 修了していない
	②更新研修・専門研修課程Ⅱ 1. 修了した 2. 修了していない
	③主任介護支援専門員研修 1. 修了した 2. 修了していない
	④①~③以外で、認知症ケアに関わる研修の受講状況 1. 受講した 2. 受講していない

問2. 担当利用者の状況 平成 28 年 10 月実績								
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。								
(1)10 月分の給付管理を行った担当利用者数			人					
①介護予防支援(委託分)			人					
②居宅介護支援			人					
(2)担当する利用者の認知症高齢者の日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
	人	人	人	人	人	人	人	人
(3)利用者のうち、認知症で精神病棟等に 12 か月以上入院していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者			人					
(4)担当する利用者が認知症の状態にあることを、どのように把握していますか。 ※複数選択可 ※ここで「認知症の状態にある」とは、必ずしも医学的診断を受けている利用者だけを指すものではありません。			1. 本人からの情報 2. 家族・親族等からの情報 3. 要介護認定調査の結果 4. 主治医意見書における認知症高齢者の日常生活自立度 5. 認知症の専門医の診断 6. 認知症疾患医療センターからの情報 7. 認知症の状態であるか否かは把握していない 8. その他()					
「6. 認知症の専門医の診断」、「認知症疾患医療センターからの情報」を得ている場合、医療機関に関する情報をどのように収集していますか。 ※複数選択可			1. 自治体主催の研修会で情報を入手する 2. 自治体ホームページで情報を入手する 3. 地域包括支援センターからの情報提供により入手する 4. 関係者からの口コミ 5. 自分でインターネット等を使って調べる 6. その他()					
(5)担当する利用者の認知症の診断名(原因疾患)をどの程度把握していますか。			認知症の状態にある利用者数			人		
			うち、原因疾患を把握している利用者数			人		
① 認知症の診断名(原因疾患)を把握している場合、どのように把握していますか。 ※複数選択可			1. 本人から情報を得る 2. 家族・親族等から情報を得る 3. 主治医意見書の記載から情報を得る 4. 主治医と連携して情報を得る 5. 主治医以外の医師と連携して情報を得る 6. 認知症疾患医療センターから情報を得る 7. その他()					

	<p>② 担当する利用者の認知症の診断名(原因疾患)を把握していない場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 本人から情報を得ていない 2. 家族・親族等から情報を得ていない 3. 主治医意見書に記載がなく、主治医に確認していない 4. 主治医と連携することがない 5. 主治医以外の医師と連携することがない 6. 地域には認知症の原因疾患を診断できる医療機関がない 7. 地域に認知症の原因疾患を診断できる医療機関があるか否かが分からない 8. 原因疾患の把握までは必要ではない 9. その他()</p>
	<p>(6)担当する利用者の認知症(認知機能の低下)が疑われる際、確定診断を受けていない場合、どのような対応をとることにしていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 主治医と相談する 2. 本人に医療機関で診断を受けることを勧める 3. 家族に医療機関で診断を受けることを勧める 4. 主治医以外の医師と相談する 5. 特に何もしない 6. その他()</p>
	<p>(7)通常業務の一環として、精神症状(BPSD)によって入院中の認知症の人の退院支援を行うことがありますか。</p>	<p>1. ある 2. ない</p>
	<p>① 「1. ある」場合、病院で行われる退院支援のための会議に参加することがありますか。</p>	<p>1. ある 2. ない</p>
	<p>② 「1. ある」場合、認知症の人の退院支援は、認知症でない人に比してどのように感じますか。</p>	<p>1. 困難である 2. 困難ではない 3. どちらとも言えない</p>
	<p>③ ②で「1. 困難である」場合、困難と感じる理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 2. 認知機能や ADL の低下により、家族や事業所の受け入れ態勢が整わない 3. 入院前の状態を思い出し、家族や事業所が受け入れに抵抗感を持つ 4. その他()</p>
	<p>(8)通常業務の一環として、身体合併症によって入院中の認知症の人の退院支援を行うことがありますか。</p>	<p>1. ある 2. ない</p>
	<p>① 「1. ある」場合、病院で行われる退院支援のための会議に参加することがありますか。</p>	<p>1. ある 2. ない</p>
	<p>② 「1. ある」場合、認知症の人の退院支援は、認知症でない人に比してどのように感じますか。</p>	<p>1. 困難である 2. 困難ではない 3. どちらとも言えない</p>
	<p>③ ②で「1. 困難である」場合、困難と感じる理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 2. 認知機能や ADL の低下により、家族や事業所の受け入れ態勢が整わない 3. 入院前の状態を思い出し、家族や事業所が受け入れに抵抗感を持つ 4. その他()</p>

<p>(9)認知症で精神病棟等に 12 か月以上入院していた人の退院支援を行うことがありますか。 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者</p>	<p>1. ある 2. ない</p>
<p>① 「1. ある」場合、12 ヶ月以上入院していた人の退院支援は、入院期間が 12 ヶ月未満である人に比してどのように感じますか。</p>	<p>1. 困難である 2. 困難ではない 3. どちらとも言えない</p>
<p>② ①で「1. 困難である」場合、困難と感じる理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 在宅生活への不安から本人に抵抗感がある 2. 介護負担感が大きく、家族が在宅生活に不安を感じる 3. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 4. 認知機能や ADL の低下により、家族や事業所の受け入れ態勢が整わない 5. その他()</p>

問3. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)のケアマネジメントプロセスについて

<p>(1) 認知症の人の権利を守る上で重視すべきだと思うことを選択してください。 ※複数選択可</p>	<p>1. 本人が困っていること、本人の意向、本人の希望をよく聞く 2. アセスメントの結果について、本人にわかりやすく説明する 3. 認知症について、本人にわかりやすく説明する 4. 認知症とのつきあい方や利用できるサービスについて、本人にわかりやすく説明する 5. 本人と話し合いながらケアプランを作成する 6. 作成されたケアプランについて本人にわかりやすく説明する 7. ケアプランの実施にあたっては本人の同意を得る 8. 病状が進行したときに受けたいケアについて本人と話し合う 9. 病状が進行し、自分で意思決定ができなくなったときの意思決定のあり方について、本人と話し合う 10. その他()</p>
<p>上記のうち、実践できていないことは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 本人が困っていること、本人の意向、本人の希望をよく聞く 2. アセスメントの結果について、本人にわかりやすく説明する 3. 認知症について、本人にわかりやすく説明する 4. 認知症とのつきあい方や利用できるサービスについて、本人にわかりやすく説明する 5. 本人と話し合いながらケアプランを作成する 6. 作成されたケアプランについて本人にわかりやすく説明する 7. ケアプランの実施にあたっては本人の同意を得る 8. 病状が進行したときに受けたいケアについて本人と話し合う 9. 病状が進行し、自分で意思決定ができなくなったときの意思決定のあり方について、本人と話し合う 10. その他()</p>

<p>(2) 認知症の人のアセスメントにおいて、重視していることは何ですか。 ※特に重視している上位3つを選択</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人が困っていること、心配していること 2. 本人の意向・希望 3. 家族の意向・希望 4. 本人の生活状況 5. 認知症の診断名(原因疾患) 6. 認知症の重症度 7. 認知機能障害の特徴 8. 行動心理症状(BPSD)とそれが生じる要因 9. 身体の状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等) 10. 手段的日常生活動作(IADL) 11. 身体的日常生活動作(ADL) 12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況 13. 居住環境 14. 経済状況 15. 家族の状況・介護力 16. その他()
<p>上記のうち、把握しづらいこと(把握するのが難しいこと)は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人が困っていること、心配していること 2. 本人の意向・希望 3. 家族の意向・希望 4. 本人の生活状況 5. 認知症の診断名(原因疾患) 6. 認知症の重症度 7. 認知機能障害の特徴 8. 行動心理症状(BPSD)とそれが生じる要因 9. 身体の状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等) 10. 手段的日常生活動作(IADL) 11. 身体的日常生活動作(ADL) 12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況 13. 居住環境 14. 経済状況 15. 家族の状況・介護力 16. その他()
<p>(3) 認知症の人のケアプラン作成について、重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人の意向や希望を重視してケアプランを作成する 2. 家族の意向や希望を重視してケアプランを作成する 3. 認知症の重症化予防を重視してケアプランを作成する 4. 今後起こり得る変化やリスクを想定してケアプランを作成する 5. その他()
<p>(4) 認知症の人のモニタリングについて、重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人の意向・希望を把握する 2. 家族の意向・希望を把握する 3. 認知症の重症化の状況を把握する 4. 今後起こり得る変化やリスクを想定する 5. その他()

(5) 多職種による専門的なアセスメントを踏まえて、認知症の人のケアプランを作成・共有していますか。	1. している 2. していない		
① 「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している		
② 「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 介護サービス事業所の職員 16. その他()		
(6) 認知症の人のケアマネジメントを行う上で、次の連絡先の担当者等について、把握していますか。	知っていて連携したことがある	知っているが、連携したことはない	知らない
① 認知症サポート医	1	2	3
② 認知症初期集中支援チーム	1	2	3
③ 認知症疾患医療センター	1	2	3
(7) 認知症の人のケアマネジメントを行う上で、(サービス担当者会議を除き、)医療機関とはどのような連携をしていますか。 ※複数選択可	1. ケアプラン・報告書を提出するなど、定期的に利用者の健康状態の変化等について報告、相談している 2. 治療方針や薬の変更等について随時、報告、相談している 3. 主治医と連携して家族に情報共有をしている 4. 緊急時発生前から緊急時のフローチャートを共有するなど、緊急時に連携している 5. ケアプランの長期目標設定に生かすために、主治医から今後の症状の進行に関する情報収集をしている 6. 特に連携は行っていない 7. その他()		
(8) 認知症の人のケアマネジメントを行う上で、地域包括支援センターとはどのような連携をしていますか。 ※複数選択可	1. 認知症初期集中支援チームと連携している 2. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員から助言等ももらっている 3. 地域ケア会議に参加し、事例検討の内容を参考にしている 4. 地域のインフォーマルサービスの情報を把握している 5. 特に連携は行っていない 6. その他()		

<p>(9) 認知症の人の終末期ケアについて、どのような取り組みを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 将来どこでどのように最期を迎えたいか、認知症の本人と話し合う 2. 将来どこでどのように最期を過ごしてもらいたいか、家族と話し合う 3. 将来どこでどのように最期を迎えたいか、認知症の本人と話した内容を考慮してケアプランを作成する 4. 将来どこでどのように最期を過ごしてもらいたいか、家族と話したことを考慮してケアプランを作成する 5. 特に取り組みは行っていない 6. その他()
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)のケアマネジメントにおける課題について

<p>(1) 認知症の人のアセスメントにおける課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人から必要な情報が聞き出せない 2. 家族から必要な情報が聞き出せない 3. 必要な医学的情報が収集できていない 4. 十分なアセスメント時間がとれない 5. チームメンバーからの情報収集が難しい 6. その他() 7. 特に課題はない
<p>(2) 認知症の人のケアプラン作成における課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人に合うサービスが地域にない 2. 家族の拒否がある 3. アセスメント結果のケアプラン作成への十分な活かし方が分からない 4. 認知症の人に対するケアプランの作成方法が分からない 5. 認知機能の維持・向上を目指したケアプランを作成する方法が分からない 6. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のためのケアプランを作成する方法が分からない 7. その他() 8. 特に課題はない
<p>(3) 認知症の人へのモニタリングにおける課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人から必要な情報が聞き出せない 2. 家族から必要な情報が聞き出せない 3. 入所先の介護サービス事業所から協力(情報)を得ることができない 4. モニタリングにあたり、何を確認すれば良いかわからない 5. その他() 6. 特に課題はない
<p>(4) 認知症の人のケアマネジメントを行う上での医療機関との連携上の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. かかりつけ医の認知症に対する理解が乏しい 2. 夜間など緊急時に対応可能な医師・歯科医師が少ない 3. 重度の認知症の人に対応可能な医師・歯科医師が少ない 4. 認知症の専門医が地域にいない 5. 主治医を後方支援する専門医療機関がない 6. 主治医と専門医療機関との連携が少ない 7. その他() 8. 特に課題はない

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【訪問介護票 (素案)】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況についてご回答下さい。**
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)までにご返送下さい。**

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	
	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設	
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護
	8. 訪問看護	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導
	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション	13. 短期入所生活介護
	14. 短期入所療養介護		
	15. 特定施設入居者生活介護		
	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など		
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護	
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	
	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
25. 看護小規模多機能型居宅介護			
26. 居宅介護支援	27. その他()		

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~17の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 社会福祉士			人	人
06 精神保健福祉士			人	人
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
08 管理栄養士			人	人
09 栄養士			人	人
10 歯科衛生士			人	人
11 介護支援専門員			人	人
その他 ※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	12()		人	人
	13()		人	人
	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
17 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> a. 手厚い職員配置 b. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) c. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) d. 他機関・多職種との連携強化 e. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
<p>② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()</p>
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<p>1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない</p>
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない</p>
<p>(3) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<p>1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()</p>
<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()</p>
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()</p>
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<p>1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない</p>

<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()</p>
<p>(4) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()</p>
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()</p>
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()</p>
<p>④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()</p>

(5) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。										
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可							
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる外部関係者・関係機関がない 2. 連携可能な外部関係者・関係機関に関する情報がない 3. 外部関係者・関係機関からの協力が得られない 4. 連携に関し、本人・家族からの理解が得られない 5. その他							
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5→()			
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5→()			
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5→()			
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5→()			
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5→()			
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5→()			
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5→()			
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5→()			
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5→()			
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5→()			
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員	1	2	1	2	3	4	5→()			
16. その他の介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()		
	()	1	2	1	2	3	4	5→()		
	()	1	2	1	2	3	4	5→()		

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

(6) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(7) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取組みを行っていますか。※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 特になし 7. その他()
(8) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()
(9) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に 12 ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能や ADL の低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況 貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠, 排泄, 水分摂取量, 摂食・嚥下, 栄養, 痛み, その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】				
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電話 2-3. 電子メール 2-4. 回覧板、配布プリント 2-5. その他 3. その他()				

(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。					
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
5. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()ヵ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題

(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	

<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【訪問リハビリテーション票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	
	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設	
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護
	8. 訪問看護	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導
	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション	13. 短期入所生活介護
	14. 短期入所療養介護		
	15. 特定施設入居者生活介護		
	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など		
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護	
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	
	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
	25. 看護小規模多機能型居宅介護		
	26. 居宅介護支援	27. その他()	

問2. 職員体制 平成28年10月5日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~17の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 社会福祉士			人	人
06 精神保健福祉士			人	人
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
08 管理栄養士			人	人
09 栄養士			人	人
10 歯科衛生士			人	人
11 介護支援専門員			人	人
その他 ※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	12()		人	人
	13()		人	人
	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
17 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成28年10月実績									
※該当者がいない場合は0を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	不明
		人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) c. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) d. 他機関・多職種との連携強化 e. その他()
② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()</p>
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<p>1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない</p>
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない</p>
<p>(3) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<p>1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()</p>
<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()</p>
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()</p>
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<p>1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない</p>

<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()</p>
<p>(4) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない →【④にご回答ください】 6. その他()</p>
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()</p>
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()</p>
<p>④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()</p>

(5) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。										
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可							
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる外部関係者・関係機関がない 2. 連携可能な外部関係者・関係機関に関する情報がない 3. 外部関係者・関係機関からの協力が得られない 4. 連携に関し、本人・家族からの理解が得られない 5. その他							
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5→()			
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5→()			
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5→()			
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5→()			
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5→()			
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5→()			
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5→()			
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5→()			
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5→()			
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5→()			
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員	1	2	1	2	3	4	5→()			
16. その他の介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()		
	()	1	2	1	2	3	4	5→()		
	()	1	2	1	2	3	4	5→()		

<p>③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。</p>	<p>1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】</p>
<p>④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。</p>	<p>1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している</p>
<p>⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()</p>
<p>⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()</p>
<p>⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()</p>

(6) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する(例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(7) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取り組みを行っていますか。※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 特になし 7. その他()
(8) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()
(9) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に 12 ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能や ADL の低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況 貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠, 排泄, 水分摂取量, 摂食・嚥下, 栄養, 痛み, その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】				
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電話 2-3. 電子メール 2-4. 回覧板、配布プリント 2-5. その他 3. その他()				

(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	()	2	3	4
	()	2	3	4
	()	2	3	4
(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。				
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4
13. その他	()	2	3	4
	()	2	3	4
	()	2	3	4

<p>(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可</p>	<p>1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない</p>
<p>② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()</p>

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
<p>(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	

<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【訪問看護票 (素案)】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況についてご回答下さい。**
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)までにご返送下さい。**

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	
	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設	
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護
	8. 訪問看護	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導
	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション	13. 短期入所生活介護
	14. 短期入所療養介護		
	15. 特定施設入居者生活介護		
	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など		
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護	
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	
	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
25. 看護小規模多機能型居宅介護			
26. 居宅介護支援	27. その他()		

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~17の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 社会福祉士			人	人
06 精神保健福祉士			人	人
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
08 管理栄養士			人	人
09 栄養士			人	人
10 歯科衛生士			人	人
11 介護支援専門員			人	人
その他 ※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	12()		人	人
	13()		人	人
	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
17 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> a. 手厚い職員配置 b. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) c. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) d. 他機関・多職種との連携強化 e. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
<p>② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()</p>
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<p>1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない</p>
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない</p>
<p>(3) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<p>1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()</p>
<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()</p>
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()</p>
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<p>1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない</p>

<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()</p>
<p>(4) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない →【④にご回答ください】 6. その他()</p>
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()</p>
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()</p>
<p>④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()</p>

(5) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。									
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可						
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる外部関係者・関係機関がない	2. 連携可能な外部関係者・関係機関に関する情報がない	3. 外部関係者・関係機関からの協力が得られない	4. 連携に関し、本人・家族からの理解が得られない	5. その他		
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5→()		
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5→()		
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5→()		
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5→()		
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5→()		
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5→()		
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5→()		
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5→()		
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5→()		
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5→()		
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員	1	2	1	2	3	4	5→()		
16. その他の介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

(6) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(7) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取組を行っていますか。※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 特になし 7. その他()
(8) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

(9) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4
9. 身体の健康状態(睡眠, 排泄, 水分摂取量, 摂食・嚥下, 栄養, 痛み, その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4
16. その他 ()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】				
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電話 2-3. 電子メール 2-4. 回覧板、配布プリント 2-5. その他 3. その他()				
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。					
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
5. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施 →()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【通所介護票 (素案)】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人
(2)貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みませす。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院 2. 診療所 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 訪問介護 7. 訪問入浴介護 8. 訪問看護 9. 訪問リハビリテーション 10. 居宅療養管理指導 11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 短期入所生活介護 14. 短期入所療養介護 15. 特定施設入居者生活介護 16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護 26. 居宅介護支援 27. その他()

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~18 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 生活相談員			人	人
06 社会福祉士			人	人
07 精神保健福祉士			人	人
08 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
09 管理栄養士			人	人
10 栄養士			人	人
11 歯科衛生士			人	人
12 介護支援専門員			人	人
その他	13()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
	17()		人	人
18 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績										
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。										
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。										
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(3) 若年性認知症の利用者実人数										人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
<p>② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 特に環境整備は行っていない 13. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()						
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。									
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可						
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()	
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()	
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()	
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()	
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()	
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()	
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()	
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()	
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()	
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()	
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()	
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員		1	2	1	2	3	4	5→()	
16. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取組を行っていますか※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 特になし 7. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()
(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況 貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠, 排泄, 水分摂取量, 摂食・嚥下, 栄養, 痛み, その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】				
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()				

(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。					
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4	
5. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()ヵ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題

(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	

<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【通所リハビリテーション票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況**についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)までにご返送**下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人			
(2)貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護	8. 訪問看護
	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション
	13. 短期入所生活介護	14. 短期入所療養介護	15. 特定施設入居者生活介護	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
	25. 看護小規模多機能型居宅介護	26. 居宅介護支援	27. その他()	

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~18 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1 級・2 級など)			人	人
03 医師			人	人
04 看護師			人	人
04-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
05 准看護師			人	人
06 社会福祉士			人	人
07 精神保健福祉士			人	人
08 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
09 管理栄養士			人	人
10 栄養士			人	人
11 歯科衛生士			人	人
12 介護支援専門員			人	人
その他	13()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
	17()		人	人
18 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他()
② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 特に環境整備は行っていない 13. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()						
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。									
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可						
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()	
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()	
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()	
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()	
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()	
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()	
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()	
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()	
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()	
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()	
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()	
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員		1	2	1	2	3	4	5→()	
16. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	

<p>③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。</p>	<p>1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】</p>
<p>④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。</p>	<p>1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している</p>
<p>⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()</p>
<p>⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()</p>
<p>⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()</p>

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取組を行っていますか※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 特になし 7. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()
(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況 貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】				
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()				

(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	()	2	3	4
	()	2	3	4
	()	2	3	4
(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。				
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4
5. 入居前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4
13. その他	()	2	3	4
	()	2	3	4
	()	2	3	4

<p>(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可</p>	<p>1. 日々実施している 2. 定期的に実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施 →()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない</p>
<p>② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()</p>

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
<p>(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	

<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究【特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅) 票
(素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、貴事業所の管理者または責任者がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、平成28年10月5日(水)現在の状況についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、2016年11月●日(●)までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人		
(2)貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	
	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設	
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護
	8. 訪問看護	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導
	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション	13. 短期入所生活介護
	14. 短期入所療養介護		
	15. 特定施設入居者生活介護		
	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など		
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護	
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	
	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
	25. 看護小規模多機能型居宅介護		
	26. 居宅介護支援	27. その他()	

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~18 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 生活相談員			人	人
06 社会福祉士			人	人
07 精神保健福祉士			人	人
08 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
09 管理栄養士			人	人
10 栄養士			人	人
11 歯科衛生士			人	人
12 介護支援専門員			人	人
その他	13()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
	17()		人	人
18 資格なし			人	人

問3. 入居者の状況 平成 28 年 10 月実績										
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。										
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の入居者についてはその他欄にご記入ください。										
(1) 要介護度別の入居者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(3) 若年性認知症の入居者実人数										人

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

(4) 入居者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院 (12ヶ月以上) していた入居者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた入居者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
<p>② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない →【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()
15. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、入居者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の入居者に対して実施している 2. 一部の認知症の入居者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや入居者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対するショートステイ (短期利用特定施設入居者生活介護)の紹介 7. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 8. 特になし 9. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 社会参加を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 施設で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	()	1	2	3
	()	1	2	3
	()	1	2	3

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 入居前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

【B-6 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)】

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【介護老人福祉施設票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴施設の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況**についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)まで**にご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人			
(2)貴施設に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自施設分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護	8. 訪問看護
	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション
	13. 短期入所生活介護	14. 短期入所療養介護	15. 特定施設入居者生活介護	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
	25. 看護小規模多機能型居宅介護	26. 居宅介護支援	27. その他()	

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~20 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1 級・2 級など)			人	人
03 医師			人	人
04 歯科医師			人	人
05 看護師			人	人
05-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
06 准看護師			人	人
07 生活相談員			人	人
08 社会福祉士			人	人
09 精神保健福祉士			人	人
10 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
11 管理栄養士			人	人
12 栄養士			人	人
13 歯科衛生士			人	人
14 介護支援専門員			人	人
その他	15()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	16()		人	人
	17()		人	人
	18()		人	人
	19()		人	人
20 資格なし			人	人

問3. 入所者の状況 平成 28 年 10 月実績										
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。										
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の入所者についてはその他欄にご記入ください。										
(1) 要介護度別の入所者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明	
			人	人	人	人	人	人	人	
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(3) 若年性認知症の入所者実人数										人

<p>(4) 入所者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた入所者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた入所者</p>	人
--	---

<p>問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する施設の取り組みについて</p>	
<p>(1) 認知症の人へのケアに関する施設の取り組みについてお伺いします。</p>	
<p>① 認知症の人へのケアに関して、施設として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 施設としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 施設として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()</p>
<p>② ①で施設として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()</p>
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない</p>
<p>(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし</p>

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 施設内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴施設においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴施設においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴施設では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に開催している →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に開催している」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴施設では外部研修で学んだ内容について、どのように施設内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する施設としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()
15. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()

<p>③ 貴施設では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。</p>	<p>1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】</p>
<p>④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>⑤ ④で「1. している」場合、入所者のどこまでを対象範囲としていますか。</p>	<p>1. 全ての認知症の入所者に対して実施している 2. 一部の認知症の入所者に対して実施している</p>
<p>⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()</p>
<p>⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()</p>
<p>⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()</p>

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴施設では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴施設では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや入所者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴施設では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対するショートステイの紹介 7. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 8. 特になし 9. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴施設では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 社会参加を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴施設では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 施設で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況					
貴施設におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とは施設における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて施設として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する					
4. 本人の生活史を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

<p>② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。</p>	<p>1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】</p>			
<p>③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()</p>			
<p>(2) 個別援助計画の作成状況 貴施設における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。</p>				
<p>認知症の人の個別援助計画の作成について施設として特に力を入れていることは何ですか。</p>	<p>実施している</p>	<p>概ね実施している</p>	<p>あまり実施していない</p>	<p>実施していない</p>
<p>1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>	<p>4</p>
<p>2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>	<p>4</p>
<p>3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>	<p>4</p>
<p>4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する</p>	<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>	<p>4</p>
<p>5. その他 () () ()</p>	<p>1 1 1</p>	<p>2 2 2</p>	<p>3 3 3</p>	<p>4 4 4</p>

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴施設における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について施設として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 入所前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴施設における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴施設では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)施設においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【介護老人保健施設票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴施設の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成 28 年 10 月 5 日 (水) 現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号 1 つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が 0 (ゼロ) の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016 年 11 月●日 (●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日 9 時 30 分 ~ 17 時 30 分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24 時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種 ()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成 28 年 10 月 5 日 (水) 現在】

問 1. 基本情報

(1) 定員数	() 人
(2) 貴施設に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自施設分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院 2. 診療所 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 訪問介護 7. 訪問入浴介護 8. 訪問看護 9. 訪問リハビリテーション 10. 居宅療養管理指導 11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 短期入所生活介護 14. 短期入所療養介護 15. 特定施設入居者生活介護 16. 15 以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護 26. 居宅介護支援 27. その他 ()

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~21 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1 級・2 級など)			人	人
03 医師			人	人
04 歯科医師			人	人
05 看護師			人	人
	05-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師		人	人
06 准看護師			人	人
07 生活相談員			人	人
08 社会福祉士			人	人
09 精神保健福祉士			人	人
10 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
11 管理栄養士			人	人
12 栄養士			人	人
13 歯科衛生士			人	人
14 薬剤師			人	人
15 介護支援専門員			人	人
その他	16()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	17()		人	人
	18()		人	人
	19()		人	人
	20()		人	人
21 資格なし			人	人

問3. 入所者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の入所者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の入所者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
			人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(3) 若年性認知症の入所者実人数	人
(4) 入所者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院 (12 ヶ月以上) していた入所者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた入所者	人

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する施設の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する施設の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、施設として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 施設としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 施設として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他()
② ①で施設として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 施設内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴施設においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴施設においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴施設では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に開催している →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に開催している」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴施設では外部研修で学んだ内容について、どのように施設内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する施設としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()
15. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()

<p>③ 貴施設では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。</p>	<p>1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】</p>
<p>④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>⑤ ④で「1. している」場合、入所者のどこまでを対象範囲としていますか。</p>	<p>1. 全ての認知症の入所者に対して実施している 2. 一部の認知症の入所者に対して実施している</p>
<p>⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()</p>
<p>⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()</p>
<p>⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()</p>

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴施設では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴施設では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや入所者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴施設では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対するショートステイの紹介 7. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 8. 特になし 9. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴施設では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 社会参加を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴施設では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 施設で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況					
貴施設におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とは施設における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて施設として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴施設における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について施設として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴施設における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について施設として特に力を入れていることは何ですか。		実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供		1	2	3	4
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供		1	2	3	4
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供		1	2	3	4
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供		1	2	3	4
5. 入所前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供		1	2	3	4
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供		1	2	3	4
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供		1	2	3	4
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供		1	2	3	4
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供		1	2	3	4
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供		1	2	3	4
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供		1	2	3	4
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供		1	2	3	4
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴施設における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴施設では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可		1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない			
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可		1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()			

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)施設においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【介護療養型医療施設票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴施設の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況**についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1) 病床数	()人
(2) 貴施設に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含まれます。自施設分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院 2. 診療所 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 訪問介護 7. 訪問入浴介護 8. 訪問看護 9. 訪問リハビリテーション 10. 居宅療養管理指導 11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 短期入所生活介護 14. 短期入所療養介護 15. 特定施設入居者生活介護 16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護 26. 居宅介護支援 27. その他()

問2. 職員体制 平成28年10月5日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~21の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 医師			人	人
04 歯科医師			人	人
05 看護師			人	人
05-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
06 准看護師			人	人
07 支援相談員			人	人
08 社会福祉士			人	人
09 精神保健福祉士			人	人
10 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
11 管理栄養士			人	人
12 栄養士			人	人
13 歯科衛生士			人	人
14 薬剤師			人	人
15 介護支援専門員			人	人
その他	16()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	17()		人	人
	18()		人	人
	19()		人	人
	20()		人	人
21 資格なし			人	人

問3. 入院者の状況 平成28年10月実績									
※該当者がいない場合は0を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の入院者についてはその他欄にご記入ください。									
(1)要介護度別の入院者実人数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	不明
			人	人	人	人	人	人	人
(2)認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(3) 若年性認知症の入院者実人数	人
(4) 入院者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院(12ヶ月以上)していた入院者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた入院者	人

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する施設の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する施設の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、施設として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 施設として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
② ①で施設として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない

(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし
② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 施設内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。	
<p>貴施設においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。	
① 貴施設においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。	(西暦)年 ()月～

<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()</p>
<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()</p>
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()</p>
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<p>1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない</p>
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()</p>
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴施設では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない →【④にご回答ください】 6. その他()</p>
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()</p>
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴施設では外部研修で学んだ内容について、どのように施設内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()</p>

【B-9 介護療養型医療施設】

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する施設としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる外部関係者・関係機関がない 2. 連携可能な外部関係者・関係機関に関する情報がない 3. 外部関係者・関係機関からの協力が得られない 4. 連携に関し、本人・家族からの理解が得られない 5. その他					
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5→()	
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5→()	
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5→()	
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5→()	
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5→()	
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5→()	
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5→()	
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5→()	
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5→()	
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5→()	
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()	
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()	
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()	
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5→()	
15. その他の介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()	
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
③ 貴施設では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。			1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】					
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。			1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】					
⑤ ④で「1. している」場合、入所者のどこまでを対象範囲としていますか。			1. 全ての認知症の入所者に対して実施している 2. 一部の認知症の入所者に対して実施している					

【B-9 介護療養型医療施設】

⑥	④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()
⑦	④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧	③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()
(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。		
①	貴施設では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
②	「1. 実施している」と回答した場合、貴施設では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例：認知症カフェや入所者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③	「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()

(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
<p>貴施設では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対するショートステイの紹介 7. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 8. 特になし 9. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
<p>貴施設では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役割づくりを支援する 2. 社会参加を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()
(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
<p>① 貴施設では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
<p>② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況 貴施設におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とは施設における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて施設として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】				
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()				

(2) 個別援助計画の作成状況 貴施設における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について施設として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	()	2	3	4
	()	2	3	4
	()	2	3	4
(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴施設における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。				
認知症の人へのケアの提供について施設として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4
5. 入院前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4
13. その他	()	2	3	4
	()	2	3	4
	()	2	3	4

<p>(4) モニタリングの実施状況 貴施設における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。</p>	
<p>① 貴施設では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可</p>	<p>1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()ヵ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない</p>
<p>② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()</p>

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
<p>(1)施設においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()</p>
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	

<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 (1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【定期巡回・随時対応型訪問介護看護票（素案）】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日（水）現在の状況についてご回答下さい。**
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ （ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日（●）までにご返送下さい。**

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話：0120-xxxx-xxxx（平日9時30分～17時30分）
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX：03-3256-7471（24時間受付）
 E-mail：★★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日（水）現在】

問1. 基本情報

貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	
	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		4. 介護老人保健施設
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護
	8. 訪問看護	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導
	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション	13. 短期入所生活介護
	14. 短期入所療養介護		
	15. 特定施設入居者生活介護		
	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など		
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護	
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	
	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
25. 看護小規模多機能型居宅介護			
26. 居宅介護支援	27. その他()		

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~17の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 社会福祉士			人	人
06 精神保健福祉士			人	人
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
08 管理栄養士			人	人
09 栄養士			人	人
10 歯科衛生士			人	人
11 介護支援専門員			人	人
その他 ※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	12()		人	人
	13()		人	人
	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
17 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
			人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて

(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。

<p>① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 <ol style="list-style-type: none"> a. 手厚い職員配置 b. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) c. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) d. 他機関・多職種との連携強化 e. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
<p>② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
<h5>(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。</h5>	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

【B-10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()</p>
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<p>1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない</p>
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない</p>
<p>(3) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<p>1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()</p>
<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()</p>
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的に使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()</p>
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<p>1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない</p>

【B-10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()</p>
<p>(4) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()</p>
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()</p>
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()</p>
<p>④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()</p>

【B-10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

(5) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。										
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可							
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる外部関係者・関係機関がない 2. 連携可能な外部関係者・関係機関に関する情報がない 3. 外部関係者・関係機関からの協力が得られない 4. 連携に関し、本人・家族からの理解が得られない 5. その他							
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5→()			
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5→()			
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5→()			
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5→()			
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5→()			
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5→()			
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5→()			
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5→()			
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5→()			
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5→()			
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員	1	2	1	2	3	4	5→()			
16. その他の介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()			
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()		
	()	1	2	1	2	3	4	5→()		
	()	1	2	1	2	3	4	5→()		

【B-10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

(6) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(7) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取り組みを行っていますか。 ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 7. 特になし 8. その他()
(8) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

(9) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

【B-10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電話 2-3. 電子メール 2-4. 回覧板、配布プリント 2-5. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他 ()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【認知症対応型通所介護票 (素案)】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人
(2)貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院 2. 診療所 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 訪問介護 7. 訪問入浴介護 8. 訪問看護 9. 訪問リハビリテーション 10. 居宅療養管理指導 11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 短期入所生活介護 14. 短期入所療養介護 15. 特定施設入居者生活介護 16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護 26. 居宅介護支援 27. その他()

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~18の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 生活相談員				
06 社会福祉士			人	人
07 精神保健福祉士			人	人
08 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
09 管理栄養士			人	人
10 栄養士			人	人
11 歯科衛生士			人	人
12 介護支援専門員			人	人
その他	13()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
	17()		人	人
18 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他()
② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

【B-11 認知症対応型通所介護】

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 特に環境整備は行っていない 13. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

【B-11 認知症対応型通所介護】

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

【B-11 認知症対応型通所介護】

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()						
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。									
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可						
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()	
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()	
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()	
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()	
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()	
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()	
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()	
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()	
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()	
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()	
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()	
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員		1	2	1	2	3	4	5→()	
16. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()	
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	

【B-11 認知症対応型通所介護】

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取り組みを行っていますか。 ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対する共用型認知症対応型通所介護の紹介 7. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 8. 特になし 9. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

【B-11 認知症対応型通所介護】

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

【B-11 認知症対応型通所介護】

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他 () () ()	1 1 1	2 2 2	3 3 3	4 4 4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~17の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 社会福祉士			人	人
06 精神保健福祉士			人	人
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
08 管理栄養士			人	人
09 栄養士			人	人
10 歯科衛生士			人	人
11 介護支援専門員			人	人
その他 ※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	12()		人	人
	13()		人	人
	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
17 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他() 3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()
② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

【B-12 小規模多機能型居宅介護】

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()
15. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()

【B-12 小規模多機能型居宅介護】

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	<ul style="list-style-type: none"> 1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	<ul style="list-style-type: none"> 1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可	<ul style="list-style-type: none"> 1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 <ul style="list-style-type: none"> 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 7. 特になし 8. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	<ul style="list-style-type: none"> 1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

【B-12 小規模多機能型居宅介護】

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

【B-12 小規模多機能型居宅介護】

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電話 2-3. 電子メール 2-4. 回覧板、配布プリント 2-5. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【認知症対応型共同生活介護票 (素案)】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分～17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人
(2)ユニット数	()ユニット
(3) 貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院 2. 診療所 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 訪問介護 7. 訪問入浴介護 8. 訪問看護 9. 訪問リハビリテーション 10. 居宅療養管理指導 11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 短期入所生活介護 14. 短期入所療養介護 15. 特定施設入居者生活介護 16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護 26. 居宅介護支援 27. その他()

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~17の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 社会福祉士			人	人
06 精神保健福祉士			人	人
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
08 管理栄養士			人	人
09 栄養士			人	人
10 歯科衛生士			人	人
11 介護支援専門員			人	人
その他 ※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	12()		人	人
	13()		人	人
	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
17 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績									
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。									
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。									
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明
		人	人	人	人	人	人	人	人
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(3) 若年性認知症の利用者実人数									人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他()
② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的で開催している」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()
15. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要がないと考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要がないと考えている 5. その他()

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対するショートステイ(短期利用認知症対応型共同生活介護)の紹介 7. 在宅で生活する認知症の人に対する共用型認知症対応型通所介護の紹介 8. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 9. 特になし 10. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 社会参加を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 施設で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠, 排泄, 水分摂取量, 摂食・嚥下, 栄養, 痛み, その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向や希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向や希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

【B-13 認知症対応型共同生活介護】

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 入居前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可	1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述	
(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

**認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【看護小規模多機能型居宅介護票 (素案)】**

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)まで**にご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1. 以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1) 登録者数	()人
(2) 貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院 2. 診療所 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 訪問介護 7. 訪問入浴介護 8. 訪問看護 9. 訪問リハビリテーション 10. 居宅療養管理指導 11. 通所介護 12. 通所リハビリテーション 13. 短期入所生活介護 14. 短期入所療養介護 15. 特定施設入居者生活介護 16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 看護小規模多機能型居宅介護 26. 居宅介護支援 27. その他()

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~18 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1 級・2 級など)			人	人
03 保健師			人	人
04 看護師			人	人
04-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
05 准看護師			人	人
06 社会福祉士			人	人
07 精神保健福祉士			人	人
08 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
09 管理栄養士			人	人
10 栄養士			人	人
11 歯科衛生士			人	人
12 介護支援専門員			人	人
その他	13()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
	17()		人	人
18 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績										
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。										
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。										
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明	
			人	人	人	人	人	人	人	
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(3) 若年性認知症の利用者実人数										人

(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可	1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】 a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他()
② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可	1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()
③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可	1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可	1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし

【B-14 看護小規模多機能型居宅介護】

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 居心地よく過ごせる居室 13. 特に環境整備は行っていない 14. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

【B-14 看護小規模多機能型居宅介護】

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない→【④にご回答ください】 6. その他()
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()

【B-14 看護小規模多機能型居宅介護】

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()					
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。								
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可					
		1. 連携している	2. 連携していない	1	2	3	4	5→()
1. 主治医		1	2	1	2	3	4	5→()
2. 認知症の専門医		1	2	1	2	3	4	5→()
3. 認知症サポート医		1	2	1	2	3	4	5→()
4. 1～3以外の医師		1	2	1	2	3	4	5→()
5. 歯科医師		1	2	1	2	3	4	5→()
6. 薬剤師		1	2	1	2	3	4	5→()
7. 民生委員		1	2	1	2	3	4	5→()
8. 近隣住民		1	2	1	2	3	4	5→()
9. 町内会・自治会		1	2	1	2	3	4	5→()
10. 市町村の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
11. 保健所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
12. 地域包括支援センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
13. 認知症疾患医療センターの職員		1	2	1	2	3	4	5→()
14. 認知症初期集中支援チーム		1	2	1	2	3	4	5→()
15. その他の介護サービス事業所の職員		1	2	1	2	3	4	5→()
16. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()
	()	1	2	1	2	3	4	5→()

【B-14 看護小規模多機能型居宅介護】

③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。	1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】
④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。	1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】
⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。	1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している
⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可	1. 主治医 2. 認知症の専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. その他の介護サービス事業所の職員 16. その他()
⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要がないと考えている 4. その他()
⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要がないと考えている 5. その他()

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. 緊急時の受け入れを行っている 8. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、地域の拠点としてどのような機能を担っていますか ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 7. 特になし 8. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

【B-14 看護小規模多機能型居宅介護】

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について

(1) アセスメントの実施状況

貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。

※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。

① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠, 排泄, 水分摂取量, 摂食・嚥下, 栄養, 痛み, その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

【B-14 看護小規模多機能型居宅介護】

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電話 2-3. 電子メール 2-4. 回覧板、配布プリント 2-5. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
<p>(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者への介護保険サービス提供における
ケアマネジメント等に関する調査研究
【地域密着型通所介護票 (素案)】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、**貴事業所の管理者または責任者**がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、**平成28年10月5日(水)現在の状況について**ご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ ()の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、**2016年11月●日(●)**までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント等に関する調査研究」事務局
 電話 : 0120-xxxx-xxxx (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-3256-7471 (24時間受付)
 E-mail : ★★-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

★本調査票のご回答者についてご記入下さい。

職務	1. 管理者	2. 1.以外 → 職位・職種()		
勤務形態	1. 常勤専従	2. 常勤兼務	3. 非常勤専従	4. 非常勤兼務

【平成28年10月5日(水)現在】

問1. 基本情報

(1)定員数	()人			
(2)貴事業所に併設されている医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数選択可	1. 病院	2. 診療所	3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	4. 介護老人保健施設
	5. 介護療養型医療施設	6. 訪問介護	7. 訪問入浴介護	8. 訪問看護
	9. 訪問リハビリテーション	10. 居宅療養管理指導	11. 通所介護	12. 通所リハビリテーション
	13. 短期入所生活介護	14. 短期入所療養介護	15. 特定施設入居者生活介護	16. 15以外の有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
	17. 福祉用具貸与	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19. 夜間対応型訪問介護	20. 認知症対応型通所介護
	21. 小規模多機能型居宅介護	22. 認知症対応型共同生活介護	23. 地域密着型特定施設入居者生活介護	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
	25. 看護小規模多機能型居宅介護	26. 居宅介護支援	27. その他()	

問2. 職員体制 平成 28 年 10 月 5 日の状況			(1)常勤の職員数	(2)非常勤の職員数
※複数の資格を有する職員は主として日々の業務を行っている資格の記入欄のみに計上してください				
00 総数(01~18 の実人数合計)			人	人
01 介護福祉士			人	人
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)			人	人
03 看護師			人	人
03-1 うち、認知症看護認定看護師 または老人看護専門看護師			人	人
04 准看護師			人	人
05 生活相談員			人	人
06 社会福祉士			人	人
07 精神保健福祉士			人	人
08 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士			人	人
09 管理栄養士			人	人
10 栄養士			人	人
11 歯科衛生士			人	人
12 介護支援専門員			人	人
その他	13()		人	人
※資格のある方で、上記資格に該当しない場合は、その他欄に資格名をご記入ください。	14()		人	人
	15()		人	人
	16()		人	人
	17()		人	人
18 資格なし			人	人

問3. 利用者の状況 平成 28 年 10 月実績										
※該当者がいない場合は 0 を記入してください。										
※要介護認定の申請中の方や介護保険外の利用者についてはその他欄にご記入ください。										
(1) 要介護度別の利用者実人数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	不明	
			人	人	人	人	人	人	人	
(2) 認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
(3) 若年性認知症の利用者実人数										人

<p>(4) 利用者のうち、認知症で精神病棟等に長期入院（12ヶ月以上）していた利用者数 ※当該サービス利用開始直前に入院していた利用者</p>	人
--	---

問4. 認知症の状態にある人(以下、認知症の人)に対する事業所の取り組みについて	
(1) 認知症の人へのケアに関する事業所の取り組みについてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアに関して、事業所として特に力を入れていることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 事業所としての理念やケアの方針を職員間で共有すること 2. 事業所として認知症ケアに必要な体制を整備すること →【特に力を入れて取り組んでいるものを選択してください※複数選択可】</p> <p>a. 手厚い職員配置 b. ハード面での環境整備 c. マニュアル・手順書等の整備、普及 (例: マニュアル・手順書等作成のための部署があるなど) d. 研修、人材育成プログラム等の整備 (例: 研修、人材育成プログラムに認知症をテーマとして入れているなど) e. 他機関・多職種との連携強化 f. その他()</p> <p>3. 家族への支援の強化 4. 地域の拠点としての機能強化 5. 特に力を入れていることはない 6. その他()</p>
<p>② ①で事業所として特に力を入れていることがある場合、選択した事項を推進するにあたっての課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 職員の意欲・意識にばらつきがある 2. 取り組むための人員・時間が不足している 3. 取り組むための知識が不足している 4. 取り組むための具体的な方策がわからない 5. 取り組むための資金が不足している 6. 家族からの理解・協力を得るのが困難 7. 他機関からの協力を得るのが困難 8. 特に課題はない 9. その他()</p>
<p>③ 認知症の人へのケアに関して、評価や見直しを行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. チームでケアの評価や見直しを行う仕組みがある 2. 職員が各自、自身のケアの評価や見直しを行っている 3. その他() 4. 特に評価や見直しは行っていない</p>
(2) 認知症の人へのケアの方針の職員等への共有状況についてお伺いします。	
<p>① 認知症の人へのケアで重視している点は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の人の視点の重視 2. 認知症の人の権利擁護 3. 認知症の人の意思決定支援に関すること 4. 認知症の人の家族への支援に関すること 5. その他() 6. 特になし</p>

<p>② 職員にケアの方針を共有するための取り組みとして実施していることは何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員が協働して方針を作成している 2. 事業所内に方針を掲示している 3. 毎日の朝礼等で職員間で確認する 4. 職員研修において伝えている 5. ケアを行っている現場で随時確認する 6. 会議・ミーティング等で随時確認する 7. ケアのマニュアル・手順書等に反映する 8. 個別援助計画に反映する 9. 特に取り組みは行っていない 10. その他()
<p>③ ケアの方針について、職員にどの程度共有していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員がケアの方針を理解し、実践している 2. 職員によってケアの方針の理解、実践にばらつきがある 3. ケアの方針があまり理解、実践されていない
<p>④ ケアの方針について、本人・家族にどの程度説明していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの方針について本人に説明している 2. ケアの方針について家族に説明している 3. 本人や家族に対しケアの方針を説明していない
<p>(3) 認知症の人へのケアに関する環境整備(ハード面)についてお伺いします。</p>	
<p>貴事業所においては、認知症の人へのケアに関し、どのような環境整備を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 位置情報、時間情報等の提示 2. 部屋の配置・間取りの工夫 3. 適切な補助具(大きな取っ手の食器、使いやすい掃除道具など)の使用 4. 日常生活で使用する物・道具等の配置の工夫 5. 騒音等不快な刺激の除去・低減 6. 手すりの設置、段差の考慮、見守りのしやすい家具の配置等、安全面での環境整備 7. 本人の馴染みの物の配置 8. 家庭的な雰囲気づくり 9. 居場所を自由に選択できるような複数の共用スペースや屋外空間 10. プライバシー確保のための工夫(ついたての設置等) 11. ふれあい・交流を促進するための空間の設置 12. 特に環境整備は行っていない 13. その他()
<p>(4) 認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等の整備状況等についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所においては、認知症の人へのケアに関するマニュアル・手順書等がありますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ある →【②～⑥にご回答ください】 2. ない →【⑦にご回答ください】
<p>② 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等の運用開始時期はいつですか。</p>	<p>(西暦)年 ()月～</p>
<p>③ 「1. ある」場合、どのようにマニュアル・手順書等を整備していますか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自に作成している 2. 外部研修等の資料・テキストを活用している 3. 参考図書を提示している 4. その他()

<p>④ 「1. ある」場合、どのような内容が盛り込まれていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 認知症の重症度、進行度別のアプローチ方法 2. 認知症の人とのコミュニケーション上のポイント、留意点 3. 認知症の人の健康状態の確認方法、留意点 4. 認知症の人の症状の変化を読み取るためのポイント、留意点 5. 認知症の人の意思決定を支援するためのポイント、留意点 6. 認知症の人の事故やトラブルを回避するためのポイント、留意点 7. 認知症の人の家族の支援を行う上でのポイント、留意点 8. その他()</p>
<p>⑤ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように周知・共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 新人研修(採用研修)の際に使用している 2. 研修等の説明で定期的を使用している 3. 職員が常に閲覧できるようにしている 4. マニュアルはあるが使用していない 5. その他()</p>
<p>⑥ 「1. ある」場合、マニュアル・手順書等をどのように活用していますか。</p>	<p>1. 全職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 2. 一部職員がマニュアル等の内容に即したケアを実践している 3. マニュアル等の内容に即したケアはほとんど実践されていない</p>
<p>⑦ 「2. ない」場合、マニュアル・手順書等を整備していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. マニュアル・手順書等を整備するために必要な職員や時間が確保できない 2. どのようにマニュアル・手順書等を整備したらよいか分からない 3. 認知症の人のケアに当たってマニュアル・手順書等を整備する必要がないと考えている 4. その他()</p>
<p>(5) 認知症の人へのケアに関する教育・人材育成の状況についてお伺いします。</p>	
<p>① 貴事業所では、認知症の人へのケアに関して、職員に対してどのような教育・人材育成を行っていますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている →【②にご回答ください】 2. 現場での実践の中で教示する(OJT) 3. マニュアル・手順書等で教示する 4. 法人外の研修を受講させる →【②③にご回答ください】 5. 特に教育・人材育成は行っていない →【④にご回答ください】 6. その他()</p>
<p>② ①で「1. 法人内の研修・勉強会を定期的に行っている」または「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、受講対象者についてご回答ください。(今後受講を予定している場合も含みます)※複数選択可</p>	<p>1. 新人・初任者(1-2年目) 2. 中堅クラス(3年以上の業務経験者) 3. 管理者 4. 受講対象者に関する決まりはない 5. その他()</p>
<p>③ 「4. 法人外の研修を受講させる」を選択した場合、貴事業所では外部研修で学んだ内容について、どのように事業所内で共有していますか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 受講者が中心となってOJTを実施している 2. 書面で研修の報告を共有している 3. 研修の報告会を開催している 4. 受講者を中心としてプロジェクトチームを編成し、実践に取り組むようにしている 5. 特に共有する場は設けていない 6. その他()</p>

④ 「5. 特に教育・人材育成は行っていない」を選択した場合、教育・人材育成を行っていない理由は何ですか。 ※複数選択可			1. 教育・人材育成を行うために必要な職員や時間が確保できない 2. どのように教育・人材育成を行ってよいか分からない 3. 外部で開催する研修の機会がない 4. 認知症の人のケアに当たって教育・人材育成を行う必要がないと考えている 5. その他()						
(6) 認知症の人へのケアに関する他機関・多職種との連携状況についてお伺いします。									
① 認知症の人へのケアに関する事業所としての連携状況についてご回答ください。			② 「2. 連携していない」場合、その理由は何ですか。 ※複数選択可						
	1. 連携している	2. 連携していない	1. 地域に連携できる外部関係者・関係機関がない 2. 連携可能な外部関係者・関係機関に関する情報がない 3. 外部関係者・関係機関からの協力が得られない 4. 連携に関し、本人・家族からの理解が得られない 5. その他						
1. 主治医	1	2	1	2	3	4	5→()		
2. 認知症の専門医	1	2	1	2	3	4	5→()		
3. 認知症サポート医	1	2	1	2	3	4	5→()		
4. 1～3以外の医師	1	2	1	2	3	4	5→()		
5. 歯科医師	1	2	1	2	3	4	5→()		
6. 薬剤師	1	2	1	2	3	4	5→()		
7. 民生委員	1	2	1	2	3	4	5→()		
8. 近隣住民	1	2	1	2	3	4	5→()		
9. 町内会・自治会	1	2	1	2	3	4	5→()		
10. 市町村の職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
11. 保健所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
12. 地域包括支援センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
13. 認知症疾患医療センターの職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
14. 認知症初期集中支援チーム	1	2	1	2	3	4	5→()		
15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員	1	2	1	2	3	4	5→()		
16. その他の介護サービス事業所の職員	1	2	1	2	3	4	5→()		
17. その他	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	
	()	1	2	1	2	3	4	5→()	

<p>③ 貴事業所では、複数の職員によるアセスメントを踏まえて個別援助計画を作成・共有していますか。</p>	<p>1. している →【④にご回答ください】 2. していない →【⑧にご回答ください】</p>
<p>④ ③で「1. している」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. している →【⑤⑥にご回答ください】 2. していない →【⑦にご回答ください】</p>
<p>⑤ ④で「1. している」場合、利用者のどこまでを対象範囲としていますか。</p>	<p>1. 全ての認知症の利用者に対して実施している 2. 一部の認知症の利用者に対して実施している</p>
<p>⑥ ④で「1. している」場合、代表的な連携先はどこですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 主治医 2. 認知症専門医 3. 認知症サポート医 4. 1～3以外の医師 5. 歯科医師 6. 薬剤師 7. 民生委員 8. 近隣住民 9. 町内会・自治会 10. 市町村の職員 11. 保健所の職員 12. 地域包括支援センターの職員 13. 認知症疾患医療センターの職員 14. 認知症初期集中支援チーム 15. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員 16. その他の介護サービス事業所の職員 17. その他()</p>
<p>⑦ ④で「2. していない」場合、多職種による専門的なアセスメントを実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な職員や時間が確保できない 2. 多職種による専門的なアセスメントを実施するために必要な知識・情報が不足している 3. 認知症の人のケアに当たって多職種による専門的なアセスメントを実施する必要があると考えている 4. その他()</p>
<p>⑧ ③で「2. していない場合」、複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画の作成・共有をしていない理由は何ですか。 ※複数選択可</p>	<p>1. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な職員や時間が確保できない 2. 複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有するために必要な知識・情報が不足している 3. 相談できる職員がいない 4. 認知症の人のケアに当たって複数の職員によるアセスメントを踏まえた個別援助計画を作成・共有する必要があると考えている 5. その他()</p>

(7) 認知症の人の家族への支援についてお伺いします。	
① 貴事業所では、認知症の人の家族に対して、支援を行っていますか。	1. 実施している →【②にご回答ください】 2. 実施していない →【③にご回答ください】
② 「1. 実施している」と回答した場合、貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応する 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場に関する情報を提供する (例: 認知症カフェや利用者の家族の会など) 5. 家族に対する生活支援を行う 6. 家族に代わって他機関との調整を行う 7. その他()
③ 「2. 実施していない」と回答した場合、実施していない理由は何ですか。 ※複数選択可	1. 家族に対して支援をするための職員や時間が確保できない 2. どのように家族に対する支援を行うかが分からない 3. 家族が置かれている状況を理解できていない 4. 家族の協力が得られない 5. 家族に対する支援は必要ないと考えている 6. その他()
(8) 認知症の人へのケアに関する地域の拠点としての取組状況についてお伺いします。	
貴事業所では、他機関・他事業所等と連携して、地域の拠点としての取り組みを行っていますか。 ※複数選択可	1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 →【具体的に ※複数選択可】 2-1. サポーター養成研修の実施 2-2. 認知症カフェの実施 2-3. 講習会の開催等学習機会の提供 2-4. 地域住民の活動の支援 2-5. その他() 3. 地域の見守りネットワークへの参画 4. 認知症の人の家族への相談支援 5. ボランティア組織への支援 6. 在宅で生活する認知症の人に対する共用型認知症対応型通所介護の紹介 7. 在宅で生活する認知症の人・家族のための日中の居場所の提供 8. 特になし 9. その他()
(9) 若年性認知症の人に対する支援についてお伺いします。	
貴事業所では、若年性認知症の人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 役割づくりを支援する 2. 就労支援(事業所内外を問わず)を行う 3. 心理面でのケア、サポートを行う 4. 家族への支援を行う 5. 特になし 6. その他()

(10) 認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対する支援についてお伺いします。 ※ここでは、当該サービス利用開始直前に12ヶ月以上長期入院していた利用者のことを言います。	
① 貴事業所では、認知症で精神病棟等に長期入院していた人に対してどのような支援を行っていますか。 ※複数選択可	1. 在宅で生活することに対する不安の低減 2. 長期の入院歴を踏まえた個別援助計画の作成 3. 継続的な医療機関との連携による処置・ケアの提供 4. 特になし 5. その他()
② ①で「支援を行っている」場合、困難と感じる点は何ですか。 ※複数選択可	1. 本人の拒否が強い 2. 認知機能の低下によって本人の意向・希望が把握できない 3. 認知機能やADLの低下により受け入れ態勢が整っていない 4. 特になし 5. その他()

問5. 認知症の人に対する支援の内容について					
(1) アセスメントの実施状況					
貴事業所におけるアセスメントについてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。					
① 認知症の人のアセスメントについて事業所として重視している点は何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 本人が困っていること、心配していることを把握する	1	2	3	4	
2. 本人の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
3. 家族の意向・希望を把握する	1	2	3	4	
4. 本人の生活状況を把握する	1	2	3	4	
5. 認知症の診断名を把握する	1	2	3	4	
6. 認知症の重症度を把握する	1	2	3	4	
7. 認知機能障害の特徴を把握する	1	2	3	4	
8. 行動・心理症状(BPSD)の特徴とそれが生じる要因を把握する	1	2	3	4	
9. 身体の健康状態(睡眠、排泄、水分摂取量、摂食・嚥下、栄養、痛み、その他の身体機能・身体症状・身体疾患等)を把握する	1	2	3	4	
10. 手段的日常生活動作(IADL)を把握する	1	2	3	4	
11. 身体的日常生活動作(ADL)を把握する	1	2	3	4	
12. 社会との関わり、社会参加や対人関係の状況を把握する	1	2	3	4	
13. 居住環境を把握する	1	2	3	4	
14. 経済状況を把握する	1	2	3	4	
15. 家族の状況・介護力を把握する	1	2	3	4	
16. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4

② 認知症の人の症状や生活の変化について、職員間で共有する仕組みがありますか。	1. ある →【③にご回答ください】 2. ない →【(2)に進んでください】			
③ 「1. ある」場合、どのように職員間で共有していますか。 ※複数選択可	1. 日々のミーティング・会議等の場で共有している 2. 情報共有ツールを活用して共有している →【具体的に ※複数選択可】 2-1. 記録ノート、申し送り票 2-2. 電子メール 2-3. 回覧板、配布プリント 2-4. その他 3. その他()			
(2) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人の個別援助計画の作成についてお答えください。				
認知症の人の個別援助計画の作成について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない
1. 本人の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
2. 家族の意向・希望を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
3. 認知症の重症化予防を重視して個別援助計画を作成する	1	2	3	4
4. 今後起こりうる変化やリスクを想定した個別援助計画を作成する	1	2	3	4
5. その他	1	2	3	4
()	1	2	3	4
()	1	2	3	4

(3) 認知症の人へのケアの提供状況 貴事業所における認知症の人へのケアの提供状況についてお答えください。					
認知症の人へのケアの提供について事業所として特に力を入れていることは何ですか。	実施している	概ね実施している	あまり実施していない	実施していない	
1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケアの提供	1	2	3	4	
2. 中核症状に応じた暮らし難さや困っていることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
3. 本人のできること、できないことに応じて自立を促すケアの提供	1	2	3	4	
4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケアの提供	1	2	3	4	
5. 利用前の生活習慣やこだわりを大切にされたケアの提供	1	2	3	4	
6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
7. 本人の好みに応じて楽しく食事が出来る工夫をしたケアの提供	1	2	3	4	
8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケアの提供	1	2	3	4	
9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケアの提供	1	2	3	4	
10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケアの提供	1	2	3	4	
11. 最期まで看取ることを見据えたケアの提供	1	2	3	4	
12. 家族の介護負担を軽減するケアの提供	1	2	3	4	
13. その他	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
	()	1	2	3	4
(4) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人へのモニタリングの実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「モニタリング」とは個別援助計画における目標の達成状況の確認のことを言います。					
① 貴事業所では、認知症の人に対するモニタリングを、どのように実施していますか。 ※看取りケアを行っている方のモニタリングは除いてお答えください。 ※複数選択可	1. 日々実施している 2. 定期的実施している→()回/年程度 3. 個別援助計画作成から一定期間後に実施→()カ月後 4. 必要に応じて実施 5. 実施していない				
② ①でモニタリングを実施している場合、モニタリング結果をどのように活用していますか。 ※複数選択可	1. 個別援助計画の見直しの際に活用している 2. 日々のケア改善に活用している 3. 活用していない 4. その他()				

問6. 認知症の人に対する支援を行う上での課題	
<p>(1)事業所においてアセスメントを行う際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメントの方針・マニュアル等を整備していない 2. 多職種によるアセスメントを実施していない 3. アセスメントのために十分な情報を収集していない 4. 職員によってアセスメントの能力にばらつきがある 5. 十分なアセスメントの時間がとれない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(2)個別援助計画を作成する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アセスメント結果を計画作成の際に十分に活かしていない 2. 多職種が連携した個別援助計画の作成をしていない 3. 認知機能の維持・向上のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 4. 認知症の行動・心理症状(BPSD)の緩和のための効果的なケアの方法を踏まえた個別援助計画を作成していない 5. 特に課題はない 6. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(3)個別援助計画を実行する上での課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・能力不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 2. 外部機関・多職種の連携不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 3. 本人・家族の理解不足により個別援助計画に基づいたケアを提供していない 4. ケアの標準化ための評価基準が明確でない 5. 職員数が不足している 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(4)モニタリングを実施する際の課題は何ですか。 ※複数選択可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタリングのための情報が不足している 2. 職員によってモニタリングの能力にばらつきがある 3. 十分なモニタリングの時間がとれない 4. モニタリング結果の情報共有が図られていない 5. モニタリング結果をケアの改善に反映していない 6. 特に課題はない 7. その他()
<p>上記で選択した課題についての主な原因は何ですか。※自由記述</p>	
<p>(5)その他、認知症の人に対するケアを行う上での課題は何ですか。 ((1)~(4)以外) ※自由記述</p>	

■■■ご協力ありがとうございました■■■